

愛南町内海中学校の利活用に関する特別委員会会議録

(令和5年10月3日)

愛 南 町 議 会

愛南町内海中学校の利活用に関する特別委員会会議録

本日の会議 令和5年10月3日(火)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	石川秀夫	副委員長	少林法子
議員	尾崎恵一	議員	嘉喜山茂
議員	池田栄次	議員	吉田茂生
議員	金繁典子	議員	鷹野正志
議員	原田達也	議員	中野光博
議員	山下正敏	議員	那須芳人
議員	吉村直城		

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本多幸雄	局長補佐	小松一恵
局長補佐	藤本吉信		

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

「内海中学校の利活用に関する調査研究」

開会 10時00分

閉会 11時13分

○石川委員長 それでは、内海中学校の利活用に関する特別委員会ということで、全員の御出席をいただき、またオブザーバーである議長も出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆さんも御存じかと思いますが、大谷翔平選手がメジャーリーグベースボール、アメリカのリーグでホームラン王になられたということで、いまだかつてない歴史的な快挙じゃないかなと。大谷選手の不断の努力が実ってホームラン王になられたんだというふうに思います。我々この特別委員会は、町民の声を真摯に聞いて、ホームランは打てませんがヒットが打てるように努力していきたいというふうに思っております。

本日は建設的な御意見を賜りまして、会を進めてまいりたいというふうに思っておりますので、どうぞ御協力よろしくお願ひいたします。

○少林副委員長 はい、ありがとうございました。

それでは、これより先議事進行は委員長のほうにお任せをしたいと思います。お願ひいたします。

○石川委員長 本日は資料も用意してなくて、この特別委員会ということで、本会議のほうで承認されてこの委員会が立ち上がったわけなんですけど、この検討方針について進め方について、皆さんの御意見をいただいて進めてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

進め方について御意見ある方、御意見いただきたいと思いますが。

中野委員。

○中野委員 誰も発言がありませんので、まず第一にですね、これ可能なのかどうか。

我々うわさでは、直接聞かれた方もおるかもしれませんが、魚神山小学校の保護者、そして柏小学校の保護者の部分で。

○石川委員長 家申。

○中野委員 家申小学校両方の意見で保護者の意思として、委員会が直接話が聞けるのかどうか。もし、それが聞けるのであればまずそれが第一番。

どういう情報か、正確に保護者の意見を聞ける場が持てれば、まずそれが第一ではないかと思うんですが、それが可能なのかどうか。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 私も中野委員の意見に賛成です。

保護者の方たちへの教育委員会による説明会のとき、たくさん意見が出ていました。その後、保護者会それぞれ開かれて、報告もまとめて教育委員会には、提出しているそうです。その中でいろいろ意見があるので、まず、その報告書の内容を私たちも可能であれば見せていただいて、そこに書かれているいろんな課題について調査する必要があるの、そのためにやっぱり保護者の方と直接話をする必要があると思います。

今まで愛南町議会、私が知る限りはそういうことをしたことはないんですけども、例えば砥部町に議会活性化で視察に行かされてもらったとき、PTAの保護者の皆さんと議会との意見交換会などされておりました。是非、そういうことを行ってからではと思います。

○石川委員長 ありがとうございます。今朝ですね、教育長のほうから保護者会からの意見の取りまとめの文書を特別委員会の私宛てにいただきましたので、暫時休憩してこの文書を配布したいと思います。

暫時休憩します。

(休憩)

○石川委員長 休憩前に引き続き、会を開催したいと思います。

お手元に資料が届いたと思います。家申小学校、柏小学校の保護者の代表者の方から、教育長宛てに文書が出された内容です。先ほど、保護者の声を聞くようにという御意見いただきましたが、まず第一に私は事実の確認をして、皆さんと事実のみを共有するのが先かなあと。それには机上審査をしなければならないとは思っておりますが。

尾崎委員。

○尾崎委員 示されたこの家串、柏小の保護者の意見の集約からしてもですね、やはり、まだまだ協議する余地はあると思っております。地域住民からも、当然不満の声があるということは、聞いておりますので、今回の特別委員会としてはですね、調査していくこととしてまず1点目は、内海中の改修費用が本当に妥当なものなのか。

もう1点は、今日までの保護者の合意形成に問題はなかったのか。

そして、教育委員会での審議に問題はなかったのか。

この辺りについて、特別委員会として、調査をして報告するということではどうかと思えます。当然再編案についてはですね、議会から提案するものではないと。このように、認識しております。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 それにつけ加えましてですね、計画書の中で、学校再編に関わる負担軽減が出てるにもかかわらず、全く改修費の件については触れてないこと。

それから、これが我々一番大きなとこだと思うんですけども、急に金額が出てですね、そういうことは絶対これはあり得ないことなんで、まず何で説明不足になったのかのところも、教育委員会としての意見書を我々も知りたいところであります。

また学校の再編後の閉校施設の管理、もしくは利用ですよ、利活用についても、どこまで話し合いがあったのかどうか。いきなり、この柏小の保護者の意見を聞いてみますとね、意見合意ができてない。まして我々の説明の中では、もう両保護者が、内海中学校に小学校をつくることで合意したということを受けておりましたが、これは全く信憑性のない、事実ではなかったこと、これについては責任問題も含めて、きちっと議会として結論を出すべきであろうと。そうじゃないとこの特別委員会も立った意味が全くないと私は思います。

議員それぞれに思惑を持ってると思いますが、やっぱりここは町民に対してしっかり議会として、ここを真意をただしていくということをしていかないと、全くですね、金額についても、1億数千万からもういきなり9,000万とかそんなばかな話はあり得ないことなんで、ここはちょっとしっかりと特別委員会で調査をしてもらいたいと。

ただし、統廃合については、全く我々は、調べるつもりもありませんし、また、海洋センターとの関連についても全く争うつもりもありません。今回の改修費用の問題、それから保護者の合意形成の問題、在り方、教育委員会の審議の在り方、ここについてはきっちり特別委員会としては追求していかなきゃならないんじゃないかなと私は思います。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 今たくさん論点言っていただきました。すいません私書きそびれたものもあるので、まとめていただいてもいいですか、ポイント幾つか、ひとつひとつ。

○石川委員長 まず、1点は改修費用。それと地域住民、保護者の合意形成、進め方に問題がなかったのかと。それと、保護者も含めて、議会に対しても予算の在り方といいますか、この1億3,700万から9,400万に減額はされてますが、そのことも含めて説明不足が起きてるんじゃないかと。この、大きく言えば3点じゃないかなというふうに思います。

(発言する者あり)

○石川委員長 もう一度ちょっと読み上げます。

1番は、改修移転費用ですね、改修費。2番目は、合意形成。3番目が、教育委員会審議の在り方が妥当であったのかどうかと。4番は、議会に対する説明不足。なぜ議会に対して説明不足になったのかということです。

ほかに御意見ある方。

山下委員。

○山下委員 これ、最初のスタートのときに、8月24日かな、全協のときに、一応議長が賛否をとった中で、賛成の方の中にB&Gを入れて協議するという方。ほて、小学校の統廃合の内海中学校のことだけという方で、これ分かれとったんですよ。だからまずそこをはっきり決めていかんと、B&Gを含めてという方も結構おられたんで、そこは賛成の方、意思統一されて、もう内海中学校だけなのか。そこをまず決めんと、いけんのやないかと思えます。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員

○石川委員長 吉村委員。

○吉村委員 吉田委員か、B&Gは争うつもりないということやけど、争うどうのこうのいう、そういう、もう飛躍した話やなくて、8月21日かの日協で、要は、私、発言したんですけども、B&Gもたまたま内海やったと。それで、内海中は近辺やったと。これは皆さん、御存じだと思うんですけど、それなんで、統廃合の校舎も内海中学校、それらも含めた利活用ということで、協議したらどうですかという話を私が提案して、そのあとに、誰かがほしたら、その件に関しては、異論がなかった。ところがそのすぐ後に議長のほうから、そしたら、再確認してもらおうたらと思うんですけども、名目を何にするかということで、それやったら利活用ということになったと。それがスタートやったんで、それがこの間の協議会でちょっと学校、だけということで、それがおかしいやないかということで原点に戻ったと。

だから、私が言いたいのは、要は、協議会やけんどうのこうのやなくて、やっぱスタートの原点に立ち返って、やっぱし、そっからしていかなと、学校だけだったら、学校だけで、スタートのときに決まっとったんです。

だから、その辺は皆さんもう1回再認識してもらって、それが、協議の中で、何ですか、もうそれは外すとか、もう、こうで言うことで皆さんで、だったら、いいんですけどやっぱこれは、全くそれも含めた利活用ということなんで、その辺は再認識してもらって、いうことにしていかなといけんのやないかと思うんです。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 今、吉村委員が言われたように、あの時はですね、たまたま海洋センターについてはですね、我々は何も知らされていなくて、そのたまたまその柏地域にするということで、それだったらと思ったんですね、今、すいませんちょっと不適切な発言だったのかもしれませんが、争うというんじゃないでなくて、それについては今回は問題にしませんよということなんですけども、その時点ではですね、どうせあそこのリゾートにするのであれば、柏中学校があるんで、あそこをもうその体験、宿泊体験できるような施設に変えたほうが有効かなというふうに思ったんですが、ただ、教育委員会のほうで、小学校として改修するといってそこで進めている以上ですね、我々そこに対して何も、その利活用については言えないわけですよ。

ここは、教育委員会がそこに至った理由をきっちり、特別委員会で判明させて、そのあと小学校としては転用しませんということであれば、是非とも利活用で今度は、宿泊の施設等々をですね同じ1億使うのであれば、この前の保田小学校みたいにですね、宿泊にすれば、体験宿泊もできるし、将来的にはお遍路さんもひよっとしたら素泊まりで3,000円ぐらいで泊まれる施設になるかもしれない。そういう利活用を、この教育委員会が転用しないという段階の中で、そこはそういうふうな形で利活用していくということで今一緒にすべきではないのかなというのが、すいません今現在の私の意見です。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 山下委員御指摘のように、9月24日確かにB&Gの海洋センター、須ノ川に建物、海洋センターという建物を建てるということで、計画の内容具体的なことも何も分かってない状況でした。

その後、もう予算は通りましたが、計画は見せてもらっていません。状況は何も変わっていないと私は認識しています。

この内海中学校の改修について皆さん先ほど、発言された方御指摘のように、この内海中について、予算の立て方が、どんどん額が変わっておかしいとか、議会の説明が不十分だったっておっしゃいます。それ以上に、B&Gの海洋センターは、議会について予算の説明さえないんですよね。議会への説明も、何に活用するのが具体的な計画も、外部の人に書いてもらって、今日、本日提出しますということで、私たち議員は、予算は通したけど、じゃ中身何なのか。町民が負担することになる維持費、管理費を聞かれたら何て説明するのか説明責任はあると思うんですね。それをこの特別委員会で、私は同時にやっていただきたいという考えは変わって

いないんですけども、これは大変な問題なので、緊急に、もう、今度の全協、10日と言わず、もう明日あさってにでも、教育委員会からB&Gの計画を共有していただいて、町民に説明する義務があると思います。これも、B&Gも内海中と同じように、教育委員会の議案に上げずに事務局が町長と進めてしまっていることです。ここに根本的な共通の問題があり、これの再発防止という意味でも、先ほど教育委員会の進め方、審議、十分だったのかっていうことありますけど、共通の問題なんですよね。だから再発防止という意味でも、私は一緒にしていただきたいと考えています。

以上です。

○石川委員長 山下委員。

○山下委員 やっぱり、そういう意味でもいろいろ意見が、反対もあり賛成もあるんで、そこはやっぱり統一して、どういう方向性で行くってというのはやっぱり先に、決めるべきではないですか。

○石川委員長 原田委員。

○原田委員 私もですね、もうこの件は、B&Gを完全に切り離すのか、一緒に考えるのかを皆さんに決を採ったらどうですか。それ採らないと、もう前向いて進まんと思いますよ。

○石川委員長 いや、まずですね私の考え方ですけど、今、再編計画が、生きてます。今時点は、統合計画は。ただし、はい。

○山下委員 委員長の役目というのは分かってるでしょう。委員の皆さんの意見を取りまとめと、進行なんで、余り個人的な自分の意見を発言しないように。

○石川委員長 はい。事実をまず確認して、そのあとで利活用について進めたらどうかというふうに私は思ってます。

○石川委員長 中野委員。

○中野委員 まず、このB&Gについて金繁委員の意見も分からんでもないですが、これはもう別として教育委員会なんかで説明責任は必要だと思うんですが、これも進んでいく予算も賛成多数で通っていったんで進んでいくんだろうと思います。

だから、この特別委員会でやるのはちょっとキープということで、これ統廃合の部分がどうなるかによっては、統廃合になれば利活用もB&Gもできんわけですし、そこら辺りはもう、進めていくんでしょうから行政側が、だからそこを待って、それがまたこれも通るか通らんかいうたらそれ、特別委員会もすぐにこれすぐ1か月2か月で終わる話でもないだろうと思うんで、そこまで期限を待って、そこで審査に通らん場合もありますし、その場合にまた、続いて、それも今後含めての話になっていくんやけど、しばらくはこのB&Gについては、特別委員会の中で特別やれることってあるのかどうか説明責任と言えば、これ別に説明責任は、どういう形でやるのか。ちょっと、まず学校の統廃合の部分を、まず結果を見る必要はあるかだと思います。それを一緒になって、今からB&Gもと言うとなかなかそれが、もう難しい話じゃないかな。だからこれを全部切り離してもうやりませんという話ではなくて、一応そこは統廃合も先に進めていってそれ結果を見ながら、そしてまたB&Gの分については、行政側からちゃんとした説明を求めるような話は必要かだと思います。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 切り離すことに絶対反対というわけではないです。

ただ、これ町民の方への説明責任というのは、かなり大きいです。10億円、もしこれ応募して通ったら10億円の事業なんで、今ちらっと聞いたら7億円程度の建物を建てる予定というのもしらしたので、この維持費何十億ってかかってくるのは町民の負担ですよ、B&Gではなく。なので、ここでしないとしても早急にこの情報を、教育委員会から入手していただきたい。もう明日あさってにでも。

実は昨日私、教育委員会のほうに情報公開請求に行きました。出してもらえるかどうか分かりませんが早く出してくださいとお願いしたら、相手方、会社の名前とかもあるので、そういうところを黒塗りにする必要がありますので時間がかかりますというふうに言われました。

でも、議会にこれだけ、どういう規模の建物を建ててその維持費が何十億になるとか全く説

明のないまま計画立てて応募するんですよ教育委員会が。そしたら、やっぱりすぐに議会でも問題にされてるわけですから、予算の修正から一般質問から、だから、それも予測した上で議会にすぐ知らせないといけないという考えのもとに準備しておくのが私は常識だと思うんですけども、昨日、そういう答えでしたので是非議会のほうから、すぐにもう明日あさってにでも、情報を共有していただくようお願いしていきたいと。是非そうしていただきたいんですが、これに関しては、住民の方からも議会に説明してくださいという陳情書でしたかね、タイトル忘れちゃったけども、若い方からでしたと思います。切実な意見いただいておりますので、それにも答える必要があります。1人だけではないです。たくさんの方から、不安の声を聞いていますので、行政の説明を待つのではなく、せめて情報はすぐにいただけたらと思います。御検討をお願いします。

○石川委員長 金繁委員のほうから、B&Gの、早急に出していただきたいということで、この特別委員会の中で、どのタイミングになるか分かりませんが、この話は続けて行くというようなことでいいんじゃないかと思いますが、皆さんいかがですか。

ただし、先ほど中野委員も言われたように、まだ確定している事業自身が確定しているわけでもないですし、その説明については、早急に出来次第、議会のほうに説明をしていただくという要求をこの特別委員会から出そうかなというふうに思いますがいかがですか。

金繁委員。

○金繁委員 実はですね、これ今日応募なんですね、提出するそうです。議会最終日に明らかになったように応募後は辞退はできません。だから、取下げますということはできないんですね。ただ、変更はできるそうです。計画の。だから1日も早く計画をいただいて、議会でそれをもんで、こういう、それを町民に情報を共有して意見をいただいてこういう意見がありますよと修正をお願いすることはできるんですよ。なので、1日も早い情報共有をお願いしたいと思っています。

○石川委員長 委員会のほうから、1日も早い説明をするようにという要求を出したいと思います。ただし、これ同時には、この今の小学校移転改修、中学校への移転改修と同時にこれ議論を進めていくのは、とてもじゃないですけど時間的にも、我々ちょっと難しいんじゃないかなということで、優先順位はあくまでこの小中学校移転改修ということで進めていきたいと思いますが、いかがですか。

吉村委員。

○吉村委員 今優先順位の話に出たんですけども、さっき、賛否を問うて、1本にするのかどうのこのそういうあれじゃなくて、もうスタートがスタートなんで、もうこれは、相並行して平行言うたらおかしいけども、優先順位からいうたら多分学校のほうは先だと思いますけども、そういうあれでいったら自然に、流れでええやないかなと思います。

それでもう1点、委員長が言いよったね、確認、事実確認、事実確認いうて、なかなかできんのやないの。

例えば、百条委員会だったら呼んでから、ああだこうだできるけども、百条委員会じゃないんで。だから、なかなかこれ、特別委員会の中で事実確認を、例えば代表者を呼んでとかいうのはなかなかやり方難しいんじゃないかなとちょっと思うんだけど、どうかな。

○石川委員長 私考えたのは、机上審査で学校教育課、教育委員会のほうからですね、説明をいただくということぐらいしか特別委員会としてはできないかなと。だからこの、今日の会議で何を、事実を確認したいかというところをまとめて、学校教育課、教育委員会のほうに次の机上審査でこういう文書を出していただきたいと、説明していただきたいということを取りまとめていきたいなというふうに思ってます。

金繁委員。

○金繁委員 保護者の方たちの今おっしゃった内容というのは、保護者の方たちの意見を聞くことはできないということかなと思うんですけど、そういうことじゃないですね。

事実の確認ということで教育委員会の委員、教育長の話聞くことももちろん大事なんですけど、公聴会を開いたりとか、いうことはもちろん特別委員会できますよね、図書館建設委員

会のときみたいに。なので、できるだけ保護者、地域の方たちの意見を聞くこともやっぱり事実というのは客観的にね、事実を探らないといけないので、片一方の意見だけを聞いても主観でしかない。もう片一方の意見を聞いてこそ客観に近づくわけで、是非両方やっていただきたいと、やるべきだと私は思います。

○石川委員長 山下委員。

○山下委員 今、金繁委員はB&Gをどうするかという話から、もう内海中学校のことになりよるんで、やっぱり吉村委員は最初の24日かね8月の、それらを含んでやるという流れで特別委員会をつくったんやが、私はそう思うんだがと。だけど反対の人もあると。いうことをやっぱりここは、そこをまず先に決めんことには、含めてするのか。吉田議員の場合は私は含めないと、いうのもあるんで、そこを先に決めて、あとの協議に入っていかなと前に進みません。そうと思いますが。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 決を採ったらいいと思います。確認してください。

○石川委員長 決、採りますか。優先順位で、進めたほうが私はいいと思いますけどね。吉村委員。

○吉村委員 さっき言い忘れた。さっき発言の中で吉田委員が説明不足とかどうのこの言いよりしましたけども、そこの中で、責任問題にもいうこと触れよったけど、責任問題というのは特別委員会ですることやないんで、百条委員会しか責任問題はやれないんで、その辺は勘違いしないように。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 責任の所在っていうんですかね。要は、どういうことでこういうふうになったのかっていうところの原因追求をしていきたいと。そうですね吉村委員よりちょっと言葉が、私の真意としてはそういうことです。はい。

○石川委員長 決を採る。採ったほうがいいという御意見が多数だとは思いますが、私は優先順位をしたほうがいいんじゃないかと思えます。

○吉田委員 委員長すいません、みんなの意見を聞いていただいて、まずこの海洋センターの中に含むか含まないかだけ決めていただければ流れすつといくと思えますけど。

○石川委員長 鷹野委員。

○鷹野委員 私の意見なんですけど、B&Gのことは追加資料で内海中学校はもう全然利活用をしないっていうような形が出てました。ですから、私はもうそれは切り離して考えるべきだというふうに思います。

○石川委員長 それでは採決しましょうか。

それでは、採決したいと思います。よろしいですか皆さん。

B&Gの特別委員会に含まない議論の進め方をするという方、賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手)

○石川委員長 賛成多数です。B&Gの件はこの議論から外してまいりたいというふうに思います。吉村委員。

○吉村委員 これ決った後であれなんやけども、特別委員会つくった趣旨とは全然違うてきたんやないかと。本議会の中で。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 最近はこのようのがありうるのかなあとと思いますけれども、特別委員会の設立というのは、確たる目的を持って成立するわけですよ。

そのときに決めたやつは、途中からは変えれないんですよ。それが、特別委員会なので、漠然とした目的でもって特別委員会をつくったらいけないというのはそこにあるんですよ。

途中で変わるのね、皆さん賛成したし私もどうしようかなと思って、上まで上げませんでしたけども、おかしいですよ。

(発言する者あり)

○石川委員長 私は何度もですね、決を採ってよろしいですかということでお尋ねしましたので、もう採決は決まりましたので。

中野委員。

○中野委員 それはもう、特別委員会の部分では、もうそうなんでしょうけど、まずやっぱりB&Gの件に関しては、また別枠でちゃんと協議会なりなんなりで、そういうあれが必要やというのはこれ委員会ですから、もうここは関係ないのかもしれませんが、それはやっぱり説明も必要だし、説明していただくのも必要やし、やっぱそこら辺りは並行して別のところで進めていくべきだと思います。

もう何も関わらんというのではなくて、特別委員会ではそうでも、そういうのは、また今、必要だと思います。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 是非1日も早く、情報共有と説明を求めるようにしていただきたい。議長とも相談して、していただきたいと思います。

先ほどから先輩議員らがおっしゃってたように、やっぱり8月24日の、もうちょっと一言だけ言わさしてください。24日で決まったのは両方やるということだったんですよ、利活用。私そのときの議事録も、今機械翻訳みたいな状態ですけど、今反対に手を挙げられた方の中にもそのときは一緒にやりましょうと発言されてる方いらっしゃいます。それはね、やっぱり説明責任あると思うんですよ。なぜ考えが変わったのか。黙って手を挙げるだけではやっぱり、議員に対して、議会の中でも問題ですけどやっぱり町民に対して、説明責任を果たすことにはならないと思いますので、できれば、考えが変わった理由を話していただきたいかったです。

○石川委員長 採決しましたのでこの件は、全協なり、違う場所で議論していただきたいというふうに思います。

先ほど4点、こういう形で学校教育課、教育委員会に対して、資料を含めて説明をいただきたいという形にした後に、先ほど金繁委員言われたように、保護者、地域の方の御意見等、できるのかできないかは分かりませんが、委員会としては、そういう形で進めていきたいというふうに思いますがいかがですか。

金繁委員。

○金繁委員 進め方ですね。論点は四つ明確になっているんですけども、教育委員会と、保護者、地域の方たち、町民の方などの両方の意見を聞いていくということで、是非そうしていただきたいと思います。

その際にですね、是非提出していただきたい資料として、9月26日に教育委員会が開かれています。その中で、活発な議論がされていたようですので、その議事録を早く出していただけたらというのが1点。

それから、保護者からの報告、今、先ほど、タブレットで共有していただきましたけれども、これは報告の1枚目だけなんですね。添付された参考資料というのは結構な量ありまして、この中に、保護者会内部で話された9月のそれぞれの保護者会での会議の内容、もちろんお名前とかプライバシーに関することは出てませんけれども、詳細に内容を記録されたものがあるようです。それを読むとですね、保護者の方たちがいかにほかの学校の子供たちのことも考え、通学の条件など考え、それから税金の使い道、地域の人たち、愛南町民の皆さんの同意も得たいというようなことまで、ものすごく思慮深く話し合われている事実が分かります。その中にいろいろなヒントが、今後、私たちがあるべき姿を考える上でいろんな変化があると思いますので、是非その資料も、保護者の方たちの同意を得られれば、提出していただけたらと。最低限それらの資料は、議論の出発点として必要かなと思います。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 私も資料がもし可能であれば出してもらいたいのは、今年の3月やったかな、家串小学校区の保護者と地域住民との会議録、それから、そのあとに開かれた柏小学校区での保護者と地域住民との会議録あるはずなんですね。それを出してもらいたいし、私はその頃、どっちも出席したんですけども、内海中を利用するで一致してた。それは反対する者おらんかった

んですよね。帰り際と個人的には会って言ったかもしれないけども、どうしてこんなに変遷したのかなあというのがものすごく気になっただけなんですよね。ひょっとして、柏小学校区は出しましたけれども、ごねたら柏小学校の保護者がごねたら、柏小学校に内海小学校来るんじゃないかと。それを議会がひょっとしたら後押ししたんじゃないかなという気もするんですよね。うがった見方ですけども、ですから、そのときの柏小学校、家串小学校の保護者と地域住民を交えた会議録、もし出されるものなら出してもらいたいと思います。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 今、那須議員の発言は極めて重要な部分がありましてですね。我々議会がこういう特別委員会を起したから、今回の問題がこんなに大きくなったっていうのはそれはちょっと、もう全然論外でございまして。我々は、統廃合をですね決して阻止するわけでもないし、ただこういういきさつの中で、計画書の中にもあるように、例えば経費の軽減とかそういう問題も計画書の中にはあるわけですよ。それを前面に出して、きちっとした説明がないからこういう問題が起こってくるわけですよ。議会がこれは、すいません。我々何度も言うように、統廃合については一切、否定するものではありません。その中で、今回、2億、1億3,000万プラスアルファを使って、そこまでして統廃合する必要性がないから我々は言ってるだけなんですよ。柏小学校の保護者の人も、大きな改修費用を使ってまで、内海中学校に行きたくないっていうことを言ってるわけですよ。統廃合については、多分否定はしてないと思います。だからその部分については、出していただいても結構ですけども、それだったらそれでそのときに、きちっとしたその話合いができてたかどうか、あそこについては我々は追及していきますよ、今度新たに、そこは議会としてやっていかないと、このまま今、那須委員の発言だと、我々賛成した委員が何か、めっちゃくちゃにしてるような言い方だったんで。それはちょっとめっちゃくちゃ、それはもう議論違うと思いますよ。何で、我々を呼んでくれなかったんですか。その保護者会に。我々はそういう知識もないわけですよ。だからそれを出していただいて、それについては車座会議で、柏それから中学校を個別的に我々は議会が行けばいいんですよ、そこは実施をしていきましょう、新たな問題としてそれがあってあればね。そこまでは、我々はしていきたいと思います。

○石川委員長 中野委員。

○中野委員 統廃合に関しては、保護者会の意向がというのがあって住民の声がっていう意向がありますが、これ例えば今の時点でも柏小学校で、もういいです統廃合、あそこの内海中学校跡でいいですよみたいな話があって、しても僕個人としては、予算が出て、そういう方向で出てきたときには、1億3,700万プラスアルファとかであれば、これは賛成できかねるし、合理性に欠けるし、これは議員個人としてでもそれはそうしたらみんながそうせんといかんという話はおかしいんで、そこら辺りはやっぱり予算の使い方、そういうものを考えながら議員としてはそういう方向でいくんで皆さんはどうかもしれませんが、これは、もうそれで決まったから絶対議員も従わんといかんという話はおかしいんで、そこら辺りも含めて保護者にも、そういうお金は話も含めて予算の話も含めて説明したのかないうのが大切なんで、図書館のときもそうでしたけど、お金の話せずにしたらみんなええと言いますよそれは、図書館あたりで使えたらいいと言いますよ。統廃合はあそこへ、どうですかってお金も関係なく、保護者分からず地域住民の人も、どうですか言うたら、いいですね話になりますよ。そこら辺りの進め方がどうやったのかないう感じは、是非そこは大切なところだと思います。進め方がね。

だから今回も、大丈夫なんであれば、特別委員会で、こうこうで来てもらえませんかという形で会場を設けて、全体、地域も含めて保護者、特に保護者のほうにも声かけて来れる人は来てもらって、その中で進め方なり何なり、実際の意見聞けるのであればそういう場も1回ぐらいいはできるのであれば可能なか可能でないのか分かりませんが、やっぱり何事にもやっぱり予算を含めての話をせんと地域住民、保護者も何でも、自分たちだけよかったらええから言う考えばかりではないと思いますよ。そこら辺りもちゃんと含めてちゃんと細やかな説明して、意見聞いてそうなら我々はそんなにむげに反対もできんと思いますが、その辺りの何か説明不足みたいなのが、何か今回あるような気がします。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 内海のことを知らない人間は柏小辺りだと思えるかもしれませんが、もうそれは絶対ないですよ。だから、複式学級の解消というのは当面できないという結論になっただけで、だから、保護者わざわざ集めてですね、どうなんだどうなんだってこれはね、酷ですよ。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 那須委員、ごめんなさい那須委員が言われたからそれは、車座会議をしなきゃなんないですよって話を今したわけですよ。形成合意ができてたと。にもかかわらず特別委員会が立ったから、今回こんなに混乱になっているという責任を我々議会にですね、してきたんで、それだったら車座で本当にそれが合意形成できたのかどうか確認しなきゃまずいでしょ。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 私は特別委員会をつくったから、こういうふうに意見が変わったということは言っていないですよ。これは今日、初めての会議なんで。そうではなくて、そのときに柏小学校の保護者も家申もあったかもしれませんが不満があったと。その人たちが、議員、名前言いませんよ、議員にできんのかなど。議員も個人的にですね、アンケートを配ったりですね、教育委員会から、あたかも配ったようなアンケートを配ったりして働きかけたんですよ。それでひょっとしたらという、うがった見方ですけれども、あったんじゃないですか。

特別委員会ができたからではないです。言っていないです。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 うがった見方っていうの我々そういうことも一切してませんし、うがった見方があるんであれば、追求をしていかなきゃまずいでしょ。

中途半端に私終わるつもりはありません。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 そしたら、柏小学校の保護者に聞いたらいいんじゃないですか。そういう、教育委員会が配ってないようなアンケートが来たわけですから。

○石川委員長 先ほどもちょっと言いましたが、まず机上審査をして、そのあとこの車座になるのか、保護者の意見を聞く機会を設けることができるのかどうかっていうのは、次のステップに考えていきたいというふうに思ってますので、まずは机上審査に対して、こういう委員会として文書を要求して机上審査を行うということで、今回はそれでよろしいですか。

金繁委員。

○金繁委員 論点が、それぞれ重い論点で、1度に全部をやるのかどうか。資料も相当になると思うんですけど。それからスケジュールですよ。改修であれば、予定どおり教育委員会は改修したいのであれば、12月には予算編成なので、12月上旬には、来年3月の予算に入れたいと考えていらっしゃると思うんですけど、それをどうするのか。話に聞いたところによると、9月26日の教育委員会での時にですね、議会特別委員会が立ち上がりまして、教育委員会としては、この件を保留にするというような、これは間接的に聞いたんで私たちね、傍聴できなかったんで視察に行って、というような話も聞いているので、そこを早急にまず確認、教育委員会に確認する必要があるんじゃないですかね。

○石川委員長 この今言った文書は、過去の文書なので、そのボリュームは確かにあろうかとは思いますが、そんなに時間かけずに、私は出てくるというようなことを推測してます。

それと予算を出すか出さないかというのはあくまで執行部が予算提出権があるので、我々議会としては議決権しかないわけで、こういう事実を基づいて、今後議会としてどうするかというのはまた別議論で考えていきたいというふうに思ってますので、まずはこの文書を、早急に出していただいて次回、机上審査がですね早急に行われるように私は進めていきたいというふうに思いますが、いかがですか。

金繁委員。

○金繁委員 今ですね、それぞれの論点についてどういう資料があるか、私たちが分かる分だけでもレックしたほうがいいんじゃないかなと思います。というのは、例えばですよ、合意形成じ

やなくて改修費に関しても教育委員会の議事録、出てない部分があるんですよね、7月とか8月とか話し合ってるんですけど。この前9月26日はまださすがに、すぐには出ないと思うんですけど、ウェブにもアップされてないんですよ。だからそれを早急に出してください。こういうものがあるでしょうっていうのもある程度出し、なおかつ、これ以外にあるものはすぐに出してくださいっていうやり方をしないと、向こうも大変だと思うので、ちょっとそれをやったらどうですかね今。

○石川委員長 金繁委員の御意見ありましたけど、個別に1点1点こういう文書を出せというのか、もう私はこのまま出して要求して、何が出てくるのか。

出てこない文書も当然あるかとは思いますが、それはまた先ほど言った、保護者も含めて御意見を賜った上で、事実を確認していけばいいんじゃないかなというふうに思います。鷹野委員。

○鷹野委員 私の考えなんですけど、柏と家串、今の段階での保護者の考え、タブレットに載せていただきました。これが今の現在の保護者会の合意形成された意見だと思います。

それで、今さっき金繁委員が言うた保護者会の内容、柏小学校での第2回保護者アンケート、第2回小学校保護者会の内容、この資料をですね、できたら見せていただいて、ここから今現在の段階、先をやっぱり見越しての、今現在のまた新たな問題点が出てくるんじゃないかっていうふうに私は思うんですよ。過去ほじくっても、今現在、未来を見ないという、先を見ないといけないんで、今現在、出てるやつを再検討する、これが一応重要だと僕は思います。

それで、保護者にまた意見を聞くっていうこともありますが、先ほど吉村委員が言ったように百条委員会やないし、あんたこういうことを言ってんじゃないか、いやもう1回ちょっと意見聞いて、聞かしてっていつて議会在それは求めるのは何か、個人のプライバシーまで入ってっていうことで、それは議会としてちょっと酷じゃないかと。もちろん、教育委員会云々にはそういうことはもちろん言えますけど、保護者までそこまで追及していいのかっていうのがちょっと今、私は疑問に思います。

ですから、今の段階での資料をもう1回検討すべきやと思います。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 すいません誤解があったのは、車座会議については先ほど那須議員が、そういう前提があったと、我々が知らない事実がまた出てきたんで、それだったらきちっと出向いて行って聞かなきゃまずいでしょうっていう声が出ただけで、基本的な路線からはないんですよ。やっぱり保護者に対して、やっぱりいろんな機微な問題もありますから、そこはないんですけども、新たな事実がこうやって出てくると、そこについて議会がどうのこうのもね、場を乱しているというふうなことが言われてくるとそこは徹底して、我々はきちっとね、襟を正して我々のやっぱり信念を通していきますよ。だからそういうふうになっただけで、基本的には保護者の意見に我々も従うつもりではいたんですけども、あまりにも合意形成ができてないと柏小学校についてはですよ。これでこのまま進めていくのは、当然おかしいのと、先ほど金繁委員が言われた真意ではないと思うんですけど確認はできてませんが、我々の特別委員会の推移を見て、それまで保留というこれはもうとんでもない、統合計画というのは進んでるわけですよこれは、教育委員会が進めていくべき問題なんです。令和7年の4月には統廃合計画ができてたわけですから、ただ場所が、内海中学校を小学校に転用すると、この問題が今大きくクローズアップしてるだけで、きちっと合意形成がなされてそこに決まりましたっていう我々は議会として受けてるわけですよ。それが全く違ってたと。ここに大きな問題があって、これを見逃してですね、我々議員がそのまま進めていくっていうのは、とんでもないことですよ。議会としてそれは議員として私個人としては、きちっとした形で正しい道を、町民の皆様にも歩んでもらいたいというのがあります。これをうやむやにするつもりは全くないんで、ちょっと言葉がすいません、さっきみたいな追及とかその辺ちょっと言いましたけども、そうじゃなくてきちっとした町づくりのために、きちっとした町民の意見を聞いて、そこを新たな方向に持っていくということが重要なことなんで、決して保護者に対して車座会議をしようっていうのは、先ほどの那須委員の意見に対してのお言葉ですから、真意では、真意ではとか全体としてそれをやりま

しょうというあれではありません。そこだけちょっとすいません。

○石川委員長 鷹野委員。

○鷹野委員 今、吉田委員の言ったこと、全く全然僕は気にしてません。車座云々っていうのは、ただ私の今の考え方を言ったままで、無理にどうのこうの、そこまで追求するよって、全く考えてませんね。それだけは理解してください。

○吉田委員 了解しました、すいません。

○石川委員長 金繁委員。

○金繁委員 先ほど鷹野委員のほうから、保護者の声を聞くのは酷な面があると。確かにそういう配慮も必要かとは思いますが、9月の頭の内海中学校での保護者説明会、教育委員会による、あの後保護者の方たちと少し話をした中で、議会にもちゃんとやってほしいというお声、複数いただきました。やっぱりそれは、先ほどからここで問題なってます合意形成がちゃんとできていないっていうことに起因してると思うんですね。だからむしろ保護者の人たちは自分たちの意見を聞いてほしいという思いでいる方はたくさんいるようです。なおかつ、それから地域の住民の方、そして町民の方も、自分たちの意見を聞いてほしいと、聞いてあげてほしいと、保護者の人たちが書いてあるんですよ。なので、鷹野委員のような配慮も大事なんですけども、まずは、お聞きしてみて、こういうことをしたいんですけどどうですかと、保護者地域の方にたちに聞いて、お断りしますと言われたらそれしょうがないですけども、是非聞いてくださいという声があれば、是非やっていただく、いくべきだと思います。

○石川委員長 机上審査についての、この4点。これはもうこれで学校教育課のほうに要求したいと思います。

今、論点なってるのは、車座会議についてどうするかという話じゃないかなと思いますけど。吉田委員。

○吉田委員 それは計画って追求するのではなくて、先ほどのある1委員の先輩委員の意見に対して、そういう事実があるのであれば、そこをやっぱり信頼し、きちっとしていかないと我々議員に対するね、信頼度も関わってくるということだったんで、特にそこを追及するわけではありませんので、もしあったら取消しさせていただいても結構ですけど。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 この特別委員会を内海中学校の利活用ですよ。

家串小学校と柏小学校の最終的な合意を出してきましたね。これを見ると、複式学級の解消はならないということですよ。家串小学校は絶対にですよ、いいですか。絶対に柏に行かないんですよ。ね、ですから、これらも内海中学校どうこうという改修費どうこうという話はもうないですよ。そこを再確認してもらって、ね。ほんで、家串小学校は絶対柏に行きませんから、これは私は内海の間人なんでよく分かるですよ。だったらもう話す必要ないじゃないですか。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 とんでもない暴挙だと思います今のは、全然それは論点違うと思いますよ。

○石川委員長 那須委員。

○那須委員 もし内海中学校の改修費を出すとすると、これは国庫補助なんですよ。だから受けたらもうこれは断れないですよ。そういうもんで、次からは愛南町、相手にしてもらえませんかよ国庫補助を受けながら使用しなかったということになったら、違いますか。

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 国庫補助とかこれは次の段階の問題で、まだ予算は出てませんから、何でここまで改修費をかけてですよ、これ書いてるでしょ冒頭に、きちっと皆さん読んでると思いますが、学校再編に関わる負担軽減について、通学保障書いてます。その他の費用の中に、改修費用一切出てません。その中で、統廃合はその跡地にするって書いてるんですよ。きちっと。ここにお金が出てこなきゃおかしいでしょうって、きちっと説明がなされてないわけですよ、今国庫補助の問題関係ないです。まだ予算化されてませんから。そうですよね。

(発言する者あり)

○石川委員長 吉田委員。

○吉田委員 国庫補助はまだ申請してませんから、そんな心配しなくてもいいと思います。この段階で今重要なのは、教育委員会が重要なことは、ここまでこういう結論が出て、今後どうするのかっていうのは、教育委員会独自が再編に向けていかなきゃまずいんで進んでいかなきゃまずいんですよ。特別委員会立ったから、しばらく保留するというのは論外の考え方です。そこはきっちりとやってもらいたいなと思います。

○石川委員長 原田議員。

○原田委員 もう時間も経過したんですけど、先ほど委員長が言うように、今日論点として4点出たでしょう。これを差し向き、教育委員会、学校教育課から資料を出してもろうて、今度それからまたいろいろ協議したらどうですか。

○石川委員長 ただいま原田委員のほうから提案ありましたので、この資料について、まず要求して、それからの議論ということで進めてまいりたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○石川委員長 皆さん、お疲れさまでした。

内海中学校の利活用に関する特別委員会委員長